



# 会より さくら会 だより

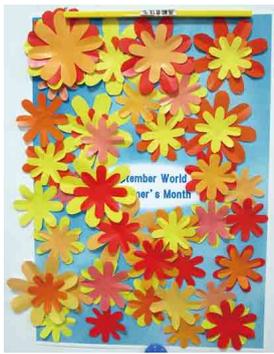
\*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第59号 2021年10月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1  
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955  
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>

## アルツハイマー月間



また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、認知症支援のイメージカラーでもある柿の色（オレンジ色）を使った様々な取り組みが行われます。認知症当事者の方とオレンジ色の花を植えることや、各地で有名なモニュメントがオレンジ色にライトアップされるなど、街中で「オレンジ色」が目にする方も少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。



「国際アルツハイマー病協会」は、世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に各地で認知症の啓蒙を実施しています。



この期間各拠点や施設内で取り組みを行いました。皆様も、お気づきになりましたでしょうか。



この取り組みで大切にしていることは、期間中オレンジ色を見かけたら、自分自身や身近な人を思い浮かべ認知症について考え、思いを伝えあってほしいということなのです。

「人生100年時代」を迎え、「認知症」は身近な存在となりました。「怖い病気」、「なりたくない」と思われている方もいらっしゃるかと思います。この機会に認知症を遠ざけるのではなく、「認知症と共に、その時の自分を生きる」ために必要な事を考えてみたり、認知症の診断を受けた自分を想像し、どのようなサポートがあったら助かるだろうかなどを話題に上げて言葉や思いを交わしてみるのも良いのかもしれません。

さて、さくら会でも、

## 老健新施設長紹介

ケアセンター南大井

尾辻

瑞人



この度、田坂紀和前施設長の退任に伴い、令和3年7月1日より施設長に就任した尾辻です。よろしくお願いいたします。

ケアセンター南大井は、介護保険制度が始まった平成12年から20年以上にわたり運営経験を積み重ねてきました。その間、ご利用者をはじめご家族、地域の皆様には当施設を支えて頂き、感謝いたします。

現在、新型コロナウイルス感染拡大に対し面会制限が続いており、ご不便と淋しい思いをされている方が多くいらっしゃると察しますが、今しばらくのご協力をお願いいたします。

コロナ後においても日本は人生百年時代に進んでいきます。

当法人の「私たちの行動指針」にもある、「いきいきと輝いて、素晴らしい人生を送るために、人々が気持ちよく、安心して満足して過ごせるために、当会を信頼していただけるよう」、努めてまいります。



## あれから3年

### タイムカプセル開封式

平成30年の新人職員8名が3年後の自分へ向けたメッセージを書き、タイムカプセルに入れました。それから3年、開封式の時期になったため8名が一堂に会しました。

開封式ではメッセージに何を書いたかを確認し、当時の話で盛り上がりました。その中で、今後もっと頑張らなければと意気込む職員や目標が達成できたと喜ぶ職員等様々な姿が見られました。

タイムカプセルの中には、自分へのメッセージの他に同期会補助券があり、皆で使用用途について話し合いました。



その結果、全額コロナウイルス関連支援団体への寄付をすることに決定しました。

新型コロナウイルス感染症が早く収まるよう医療従事者などに役に立てればとの思いが込められています。開封式で久しぶりに同期の職員が集まり、ゆっくりと話が出来たととても良い時間を過ごせました。同じように同期でゆっくりと話が出来る機会があればと思える良い会になりました。

(さくら未来プロジェクト)

## 南大井デイの夏祭り

南大井在宅サービスセンター



南大井在宅サービスセンターでは、感染予防に努める中で、8月10日から16日の1週間、1Fフロアーにて夏の風物詩、夏祭りを実施しました。

会場には職員総出で提灯を飾り、閉塞感を打ち消すような祭りばやしで雰囲気盛り上げました。また、娯楽に射的や金魚すくいゲームを行い、一等賞には表彰状を渡しました。ご利用者の皆様も、童心に帰り嬉しそうにしていらっしゃいました。

楽しいひと時を過ごされた後に、喉をうるおすため練乳がけのメロンとイチゴのかき氷を召し上がっていただきました。ここ最近、新型コロナウイルス感染者数の増加のニュースに辟易として、笑顔が見られなかったご利用者の方たちも、賑やかな祭囃子と久しぶりのかき氷に「あら！懐かしいわね。最近はどこも夏祭りをやってないから嬉しいわ」と満面の笑みと職員の浴衣姿に心躍らせていました。



出来ることは限られていますが、夏の良い思い出になったよかったと思いました。

## 夏の打ち水

品川区立大井林町高齢者住宅



「こんな小さなひしゃくで役に立つの？」

最初はそんなことをおっしゃっていた入居者の方々も、いざ手に取って始めると上手に水を撒かれています。夕方の、まだ辺りに熱気の残る時間ですが、皆で打ち水をしていると、いつしかやわらかな風が吹いてきました。



実施期間は、7月26日から8月6日まで。土曜日曜はお休みとしていたのですが、その際には、「あら、今日はないの？」と残念がって下さる方もおり、皆様このひと時を楽しんでくださっていたようです。

品川区の企画「打ち水大作戦しながら2021」に参加する形で始まった今回の打ち水ですが、夏の暑さを和らげただけでなく、参加した皆様と職員の間にも爽やかな交流の生まれる2週間になったと思います。

## 熱中症対策

### 『命をつなぐ麦茶』

品川区立月見橋在宅サービスセンター



今年の夏も連日、猛暑日が続きました。朝の送迎で自宅訪問すると部屋の中が高温になっていることがあります。

窓も閉まった室内で「気持ち悪いし、めまいもするから今日は休むわ」と元気なく横にならている方と遭遇します。

年を重ねると喉の渴きを感じにくくなることや体温調節がうまく行えず熱中症になりやすくなると言われています。

冷房を嫌う方も少なくなく、高齢の夫婦や一人暮らし世帯の方々に多く見受けられます。

「デイサービスでも何か力になれないか」職員達の思いから、月見橋では今年度より送迎車内に麦茶を入れた水筒を積み必要時すぐに水分補給できるように取り組んでおります。

お迎え時、ぐったりされていた方も水筒の麦茶を飲んで送迎車内の冷房で涼むことで元気を取り戻し、月見橋のデイサービスに通ってきてくださっています。

笑顔で帰宅される姿を見送ることが出来るのが私達の仕事のやりがいでもあります。



## 歯周病のお話

歯周病とは、歯と歯ぐきの間に細菌が侵入し炎症を起したり、歯を支える組織が壊れたりする病気で、歯みがきがうまくできずに歯と歯ぐきの間に歯垢が溜まると、歯周病を引き起こします。歯周病は口腔内の症状にとどまらず、糖尿病や心疾患など全身の健康にも影響を及ぼすことが判っています。次に挙げる三つの習慣で歯周病の発症・悪化を予防し、全身の健康を守りましょう。

### ① 毎食後に歯をみがく

みがく時は全ての歯に歯ブラシが当たっているか意識しましょう。歯の隙間など歯ブラシが届きにくい場所には歯間ブラシやデンタルフロスを使用し、舌用ブラシで舌を清潔にすることもお勧めです。

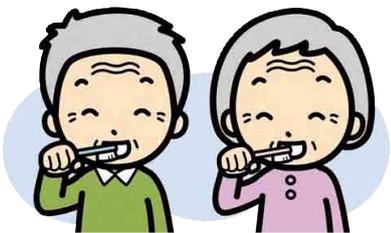
### ② 食べ物や飲み物を口に入れてからしばらく経過後に歯をみがく

間や頻度を少なくする。

### ③ 歯科医院で定期的に口の中の健康状態を診てもらおう

虫歯や歯周病の有無はもろろん、日頃の歯みがきの方法も診てもらえます。

お口の中をきれいに保ち、健康な生活を送りましょう。



## 新旧理事・評議員の紹介

### 〈理事〉

退任

原 正博 理事 (在原医師会前会長)

服部 秀彦 理事 (品川歯科医師会前会長)

田坂 紀和 理事 (ケアセンター南大井前施設長)

就任

小野寺 哲夫 理事 (品川歯科医師会会長)

尾辻 瑞人 理事 (ケアセンター南大井施設長)

### 〈評議員〉

退任

小池 義彦 評議員 (品川区薬剤師会監事)

就任

金邊 民朗 評議員 (東大井林町会会長)

退任された方々、これまでのご支援に心より感謝申し上げます。

新たに就任された方々におかれましては今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



## さくら会まつり中止のお知らせ



令和3年11月に予定しておりました「さくら会まつり」ですが、昨年に引き続き今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に鑑み、大変残念ではございますが中止することといたしました。

## 連載No.13

### ……専門職に聞く……



品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム

相談員 阿部 あかね

### Q1・仕事の内容

大井林町倶楽部の新規利用相談や見学の対応のほか、登録者の介護計画書の作成やサービスの調整を行い、ご自宅での生活を支援することを業務としています。

### Q2・専門職として心掛けていること

ご本人・ご家族のお話を伺いながら、その方にあったオーダーメイドのプランの作成を心掛けています。その方らしくご自宅での生活が継続できるよう、お手伝いできればと思っています。

### Q3・ご利用者、読者に向けてメッセージ

月見橋在宅サービスセンター・さくら会ヘルパーステーションを経て、4月から大井林町倶楽部に異動しました。各部署でのケアの経験を活かし、これからもご利用者・ご家族の心に寄り添ったケアを目指し、努力して参ります。

次回1月号は「介護支援専門員」

岡田 晶子さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒400-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和4年1月です。